

平成20年度第2回食品安全審議会での主な意見

	御意見	現計画の基本的プランにおける関連項目
1	消費者にとって食品安全が脅かされるパターンを分け、その分類に応じた対応を考える。 すでに前計画で実施している施策は活かし、足りない部分は補うという方針で検討するのはいかがか。	
2	GAPなど、生産現場での取組みを食品の安全性に結びつけるような体制づくりをしてほしい。	自主的衛生管理の推進（ - 1 ）
3	フードディフェンス課題に対してどのような施策をするのか検討すべき。	自主的衛生管理の推進（ - 1 ） 緊急時の体制整備（ - 4 ）
4	食品の安全に関する情報として、周辺情報も含めた広い範囲での情報収集をしてほしい。	情報の収集、整理、分析及び評価の推進（ - 1 ）
5	ドギーバッグの使用など、食品に関する新しい生活習慣に対応した監視指導・普及啓発を実施してほしい。	食品等の生産から販売に至る監視、指導等（ - 2 ）
6	冷凍食品の原料原産地表示のように、状況に応じて、条例による表示内容の追加などの取組みを検討してほしい。	適正な食品表示の推進（ - 3 ）
7	都民の理解力・判断力を高めるための施策を検討してほしい。	教育・学習の推進（ - 1 ）
8	情報発信は、時機と中身が大切である。 特に、安全性評価を分かりやすく伝えることが重要である。 また、リスクレベルに応じた対応も検討すべき。	教育・学習の推進（ - 1 ） 事業者による情報公開の促進（ - 2 ）
9	食糧生産を推進するための施策を検討してほしい。	その他